

第57号

2024 WINTER



# かわしん 景況レポート

(令和5年10月～12月期調査)

100<sup>th</sup>  
Anniversary

川口信用金庫

# 調査の概要

## 1 調査の目的

当金庫取引先の最近の景気動向の把握と取引先等に対する経営情報の提供を目的に実施しています。

## 2 調査の時期

2023年12月1日(金)～12月7日(木)

## 3 調査の内容

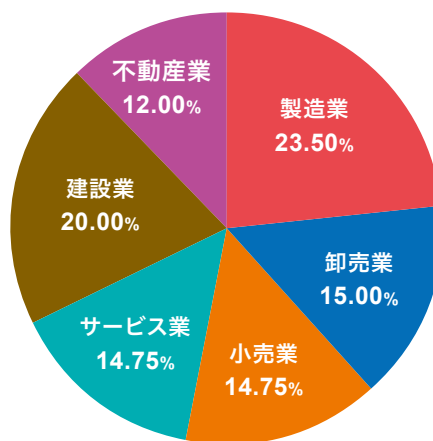
2023年7～9月期と比べた2023年10～12月期の業況  
2023年10～12月期と比べた2024年1～3月期の見通し  
特別調査「2024年(令和6年)の経営見通し」

## 4 調査の方法と対象

当金庫お取引先400社に対する聞き取りによる調査

### ● 調査対象企業数

製 造 業	94
卸 売 業	60
小 売 業	59
サ ー ビ ス 業	59
建 設 業	80
不 動 産 業	48



## 5 業況判断指数

D・I側による判断

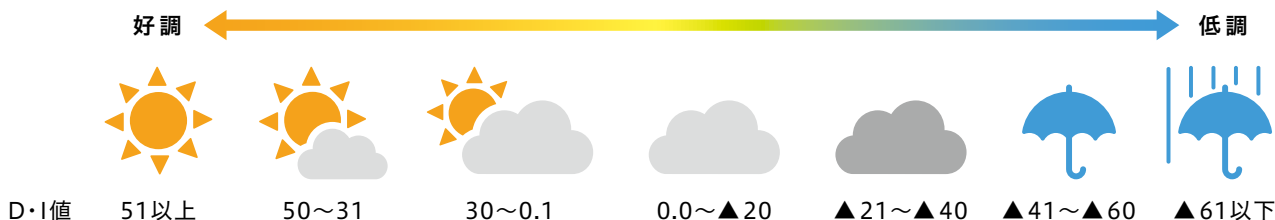
### D・Iとは?

Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略  
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものと。  
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

D・I値=「増加・やや増加・上昇の割合」-「減少・やや減少・下降の割合」

## 6 天気図の見方

景気指標を総合的に判断して作成





# 時流

## 低迷する個人消費、 先行きは？

### 【個人消費が予想外に低調】

個人消費は、名目金額ベースでみれば好調なようにみえる。GDP統計の家計最終消費支出は、2023年7～9月期に年率換算の季節調整値で315.5兆円と過去最大に達した。かつて最大だったのは、10%への消費増税直前の2019年7～9月期に記録した300.8兆円だったが、2022年4～6月期以降超えている。

だが、名目ベースの個人消費拡大は、物価高騰の影響が大きい。物価変動の影響を調整した実質ベースでみれば、個人消費は相対的に緩やかな伸びにとどまっている。10%への消費増税直前の個人消費水準を100%とすれば、名目ベースでは直近で104.9%に達しているが、実質ベースでは97.5%にとどまる。物価高騰により支出額が膨らむ一方で、実際の購入量は抑えられている状況と言える。

従来、2023年度の個人消費は回復傾向を辿ると予想していた。2023年3月にマスク着用ルールが緩和されたほか、5月にコロナの感染症法上の分類が「5類」へ移行したためだ。「5類」移行前の段階では、仮に感染者や濃厚接触者となれば勤務など一定の行動制限が課されるため、不要不急なサービス消費を控える動きが続いた。「5類」移行により、不要不急なサービス消費へのためらいが薄れ、消費者のマインドが改善すると予想していた。

実際、2023年度に入り、消費者のマインド統計は軒並み改善した。だが、実質ベースの個人消費は4～6月期に前期比▲0.6%、7～9月期に同▲0.1%と小幅ながら2期連続で減少しており、弱めの動きとなっている。

### 【物価高騰により家計の節約姿勢強まる】

2022年度の個人消費は、物価高騰にもかかわらず、コロナ後の経済活動正常化の影響がより強く、回復傾向を辿った。だが、2023年度前半の個人消費は、経済活動正常化よりも物価高騰の影響がより強く表れ、低迷したと考えられる。賃上げを超える物価高騰で、家計の節約姿勢が強いようだ。

SMBC日興証券株式会社  
金融経済調査部  
日本担当シニアエコノミスト  
みやまえ こうや  
宮前 耕也



《略歴》

2002年東京大学経済学部卒業、大阪ガス入社。2006年財務省出向、大臣官房総合政策課調査員。2008年野村證券入社、債券アナリスト兼エコノミスト。2011年SMBC日興証券入社、エコノミスト、シニア財政アナリストを経て現職。専門は日本経済、財政。著書に「アベノミクス2020—人口、財政、エネルギー」（エネルギーフォーラム社）。

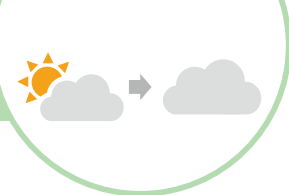
GDP統計で個人消費の内訳をみると、「経済活動正常化 vs 物価高騰で節約」の綱引きになっていることがよくわかる。サービス消費は6期連続で増加しており、外出機会回復の影響が表れている。一方、非耐久財消費は2期連続で減少しており、物価高騰で食品や日用品の購入量を抑える動きがみられる。また、耐久財消費も2期連続で減少。一部の自動車メーカーが工場稼働停止するなど供給制約が一時的に強まった影響が表れている。

### 【個人消費の行方】

では、先行きの個人消費はどうなるであろうか。短期そして中長期でポイントが異なってくる。2024年前半頃までは、物価高騰の悪影響が続くものの、個人消費は再び回復傾向を辿りそうだ。サービス消費や耐久財消費は消費増税前の水準を下回っており、自律的に回復する余地が残っている。サービス消費は、経済活動正常化により引き続き回復傾向を辿ろう。耐久財消費については、自動車の回復を期待できる。足元では一部メーカーで出荷停止などが生じているものの、自動車産業全体としては供給制約が和らぐ方向にあるとみられる。一部人気車種の納車待ちも徐々に解消される見込みだ。また、6月には3.5兆円規模の所得税・住民税の減税が実施される。減税額のうち消費に回るのは3割程度にとどまり、かつ一時的とみられるが、個人消費を押し上げよう。

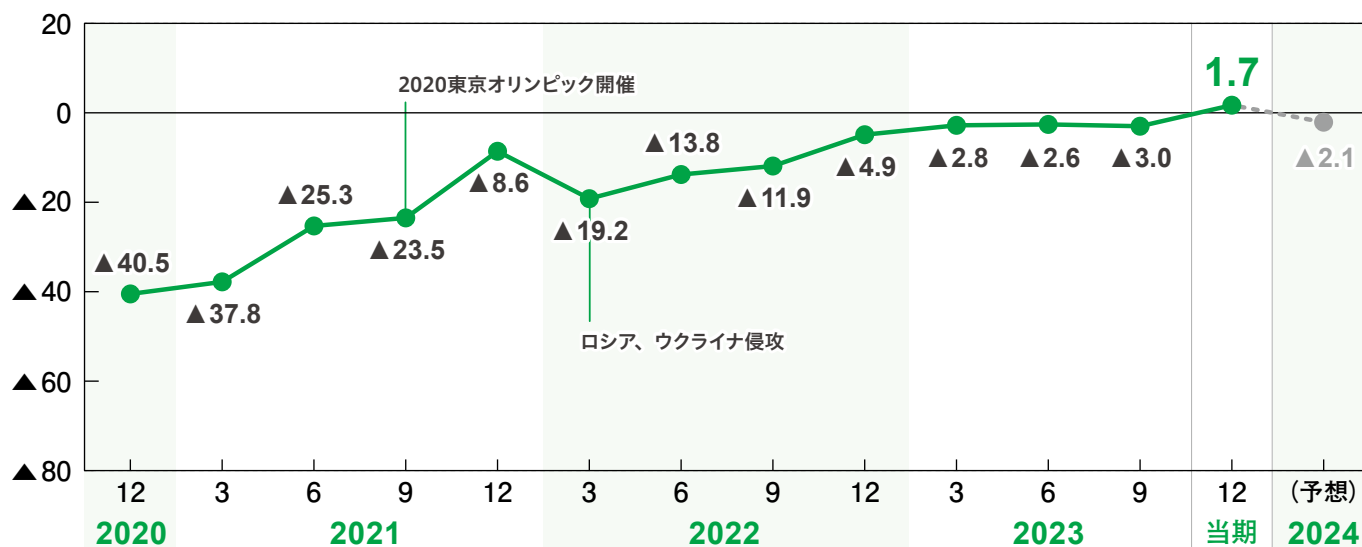
2024年後半については、雇用・賃金動向が個人消費の動向を左右しよう。+2%台の賃上げが定着する中、消費者物価も+2%前後で推移する見込みだ。実質賃金が前年比ゼロ近傍まで改善する中、雇用増が個人消費の緩やかな増加をもたらそう。

ただ、中長期的な人口動態を踏まえれば、労働力人口はいずれ減少局面へ入る見通しだ。雇用増は長続きしない。個人消費の継続的な増加には、実質賃金の継続的な上昇、すなわち労働生産性の上昇が必要であろう。

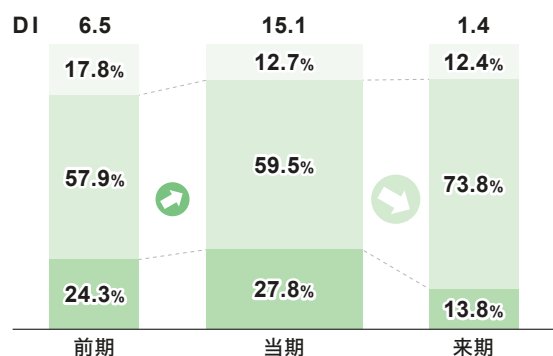


全業種の当期(10~12月)の業況判断DIは1.7で、前期(7~9月)の▲3.0と比べて4.7ポイント良化しています。来期(1~3月)については▲2.1と悪化すると予想します。売上額判断DIは、前期6.5から当期15.1と8.6ポイント良化しています。来期は1.4と悪化すると予想します。収益判断DIは、前期1.7から当期6.4と4.7ポイント良化しています。来期は▲0.9と悪化すると予想します。

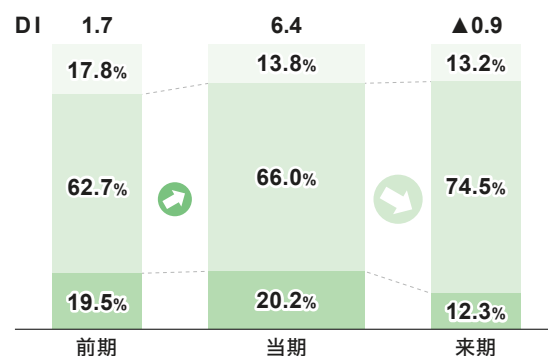
## ● 業況DI推移



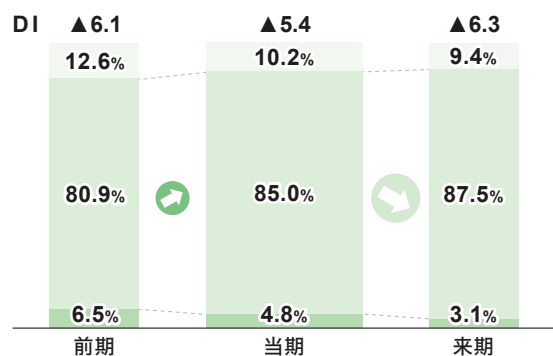
## ● 売上額



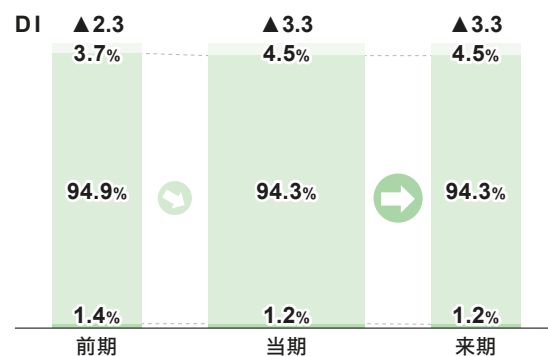
## ● 収益



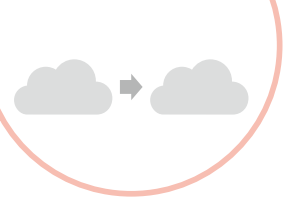
## ● 資金繰り



## ● 設備

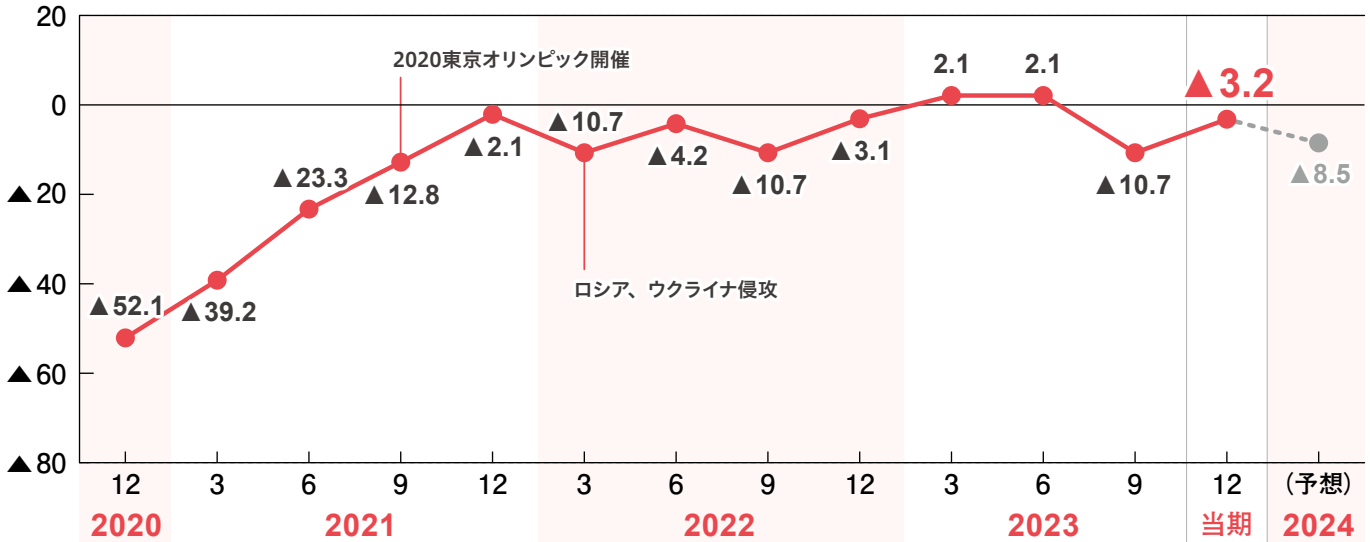


■ 増加/良い/過剰 ■ 変わらず/普通/適正 ■ 減少/悪い/不足

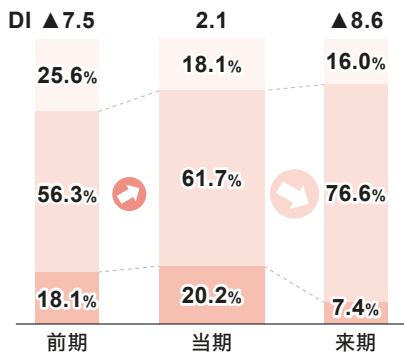


当期(10~12月)の製造業の業況は、前期(7~9月)と比べて良化しました。来期(1~3月)は悪化すると予想します。

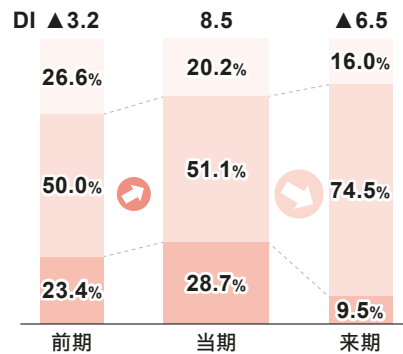
## ● 業況DI推移



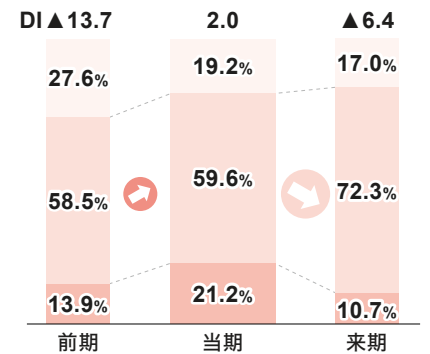
## ● 受注残



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	原材料高	19.9%
第2位	売上の停滞・減少	15.7%
第3位	人手不足	12.5%

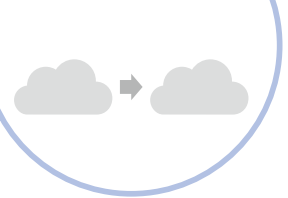
## ● 当面の重点経営施策トップ3

第1位	販路を広げる	26.7%
第2位	経費を節減する	22.0%
第3位	人材を確保する	11.0%

## お客様の声

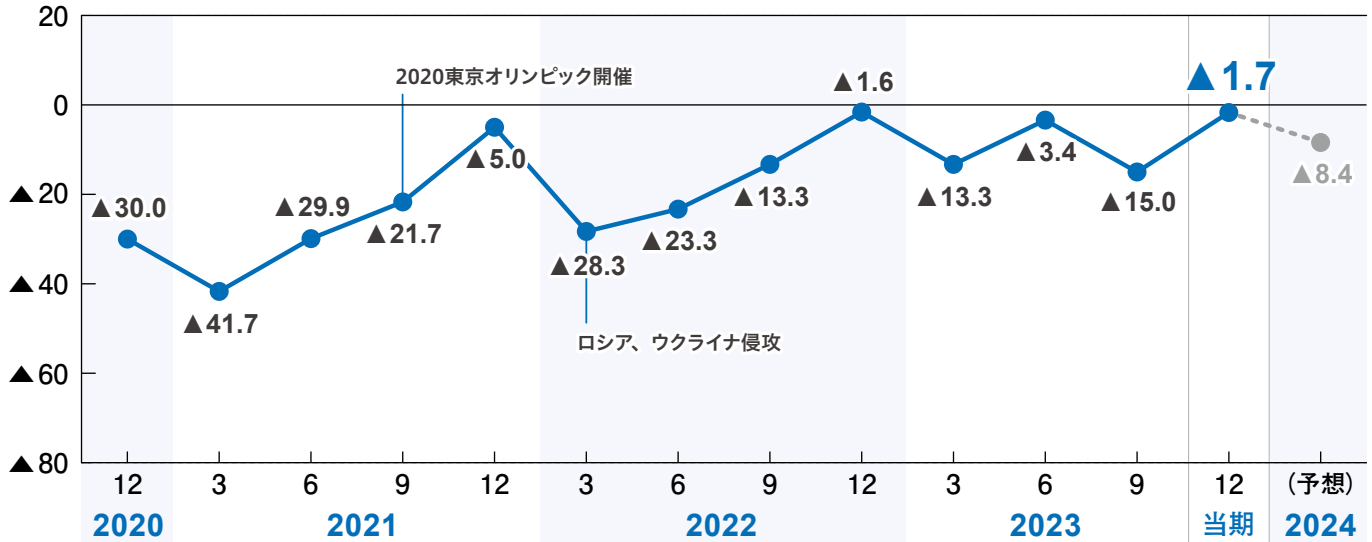


- 価格競争は行わず、質が求められる仕事を中心に販売単価を上げるよう努めている。(菓子箱)
- 外国から技能実習生を受け入れており、人材を確保している。(ステンレス鋼材)
- コロナ感染症が5類へ分類、イベントが活発に実施され売上回復傾向。(玩具・模型)
- ECサイト販売等行っているが、コストに似合わず撤退を視野に入れている。(額縁等)
- 経営者が高齢化し、後継者もないためM&Aを検討、外部専門機関に相談している。(プラスチック製品)

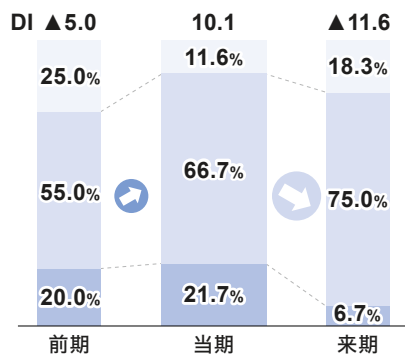


当期(10~12月)の卸売業の業況は、前期(7~9月)と比べて良化しました。来期(1~3月)は悪化すると予想します。

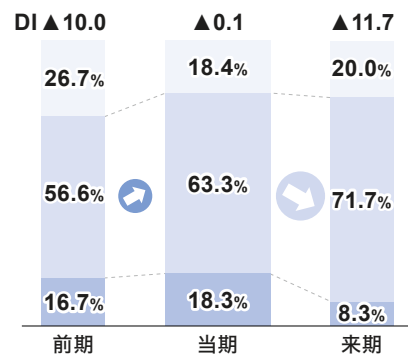
## ● 業況DI推移



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	同業者間の競争の激化	19.0%
第2位	売上の停滞・減少	18.2%
第3位	仕入先からの値上げ要請	14.9%

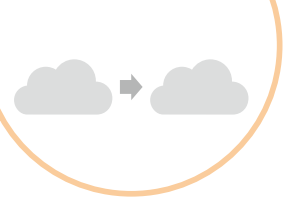
## ● 当面の重点経営施策トップ3

第1位	販路を広げる	37.0%
第2位	経費を節減する	27.7%
第3位	品揃えを充実する	9.2%

## お客様の声

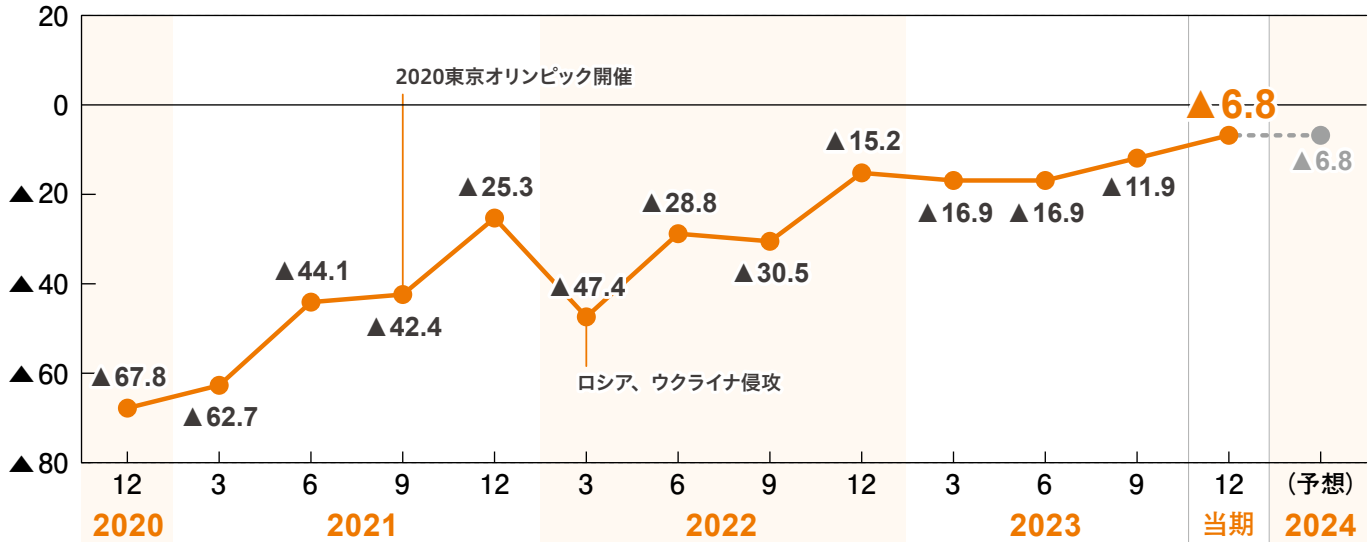


- 人手が足りず、新しく従業員を雇うことができれば事業を拡大したい。(一般鋼材)
- 仕入価格上昇傾向にあるが、売上も伸びている。今後資材の不足等考えられる。(建築資材)
- 天候により仕入価格が変動するので見通しがたちにくい。(大豆)
- 国内より海外(マレーシア)現地法人の業況が好調であり、今後更なる新規出店の計画がある。(衣類)
- 仕入価格の上昇が続いているが、販売価格の見直しにより資金繰り等は変わっていない。(工業用薬品)

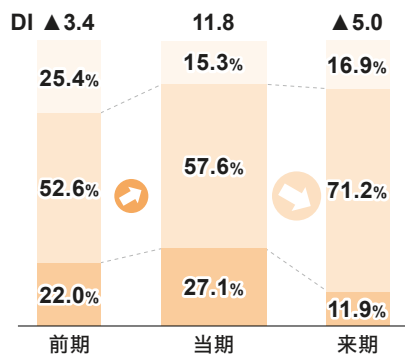


当期(10~12月)の小売業の業況は、前期(7~9月)と比べて良化しました。来期(1~3月)は横ばいと予想します。

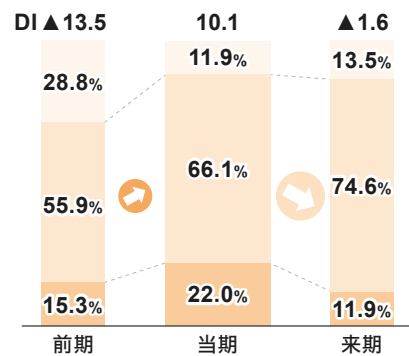
## ● 業況DI推移



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	売上の停滞・減少	17.8%
第2位	仕入先からの値上げ要請	14.1%
第3位	大型店との競争の激化	11.9%

## ● 当面の重点経営施策トップ3

第1位	経費を節減する	28.7%
第2位	宣伝・広告を強化する	17.4%
第2位	品揃えを改善する	17.4%

## お客様の声

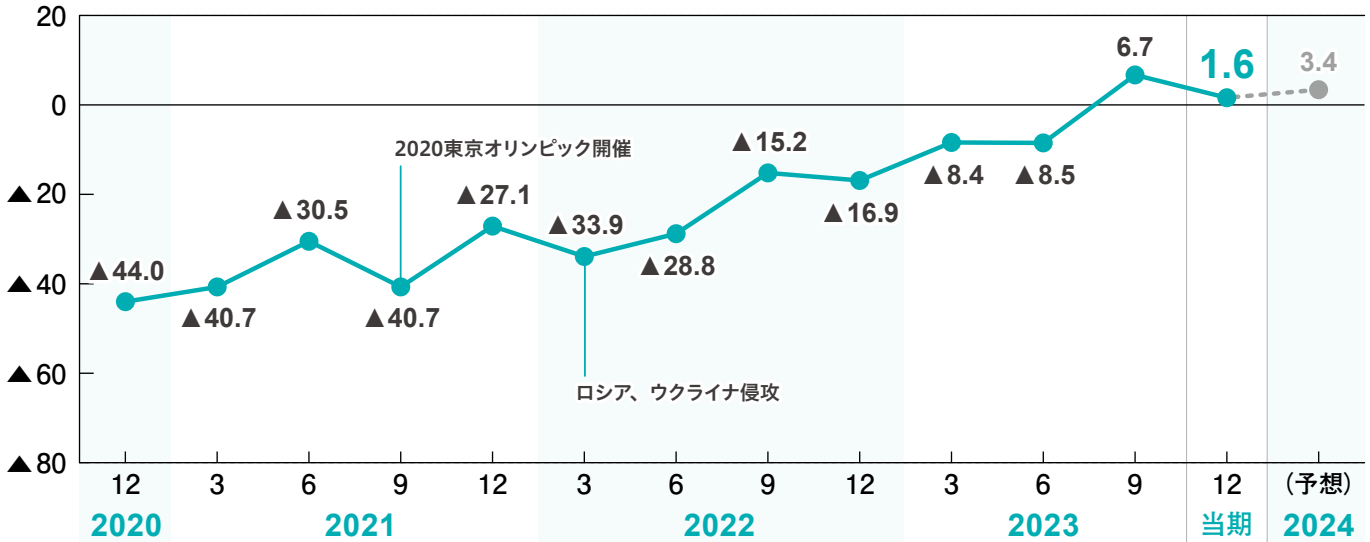


- 仕入価格上昇分を価格転嫁できており、収益が確保されている。(飲食料品)
- 地域の子供の数も減少しており、今後の見通しは明るい兆しが見られない。(婦人服・学生服・寝具)
- 小規模ながら売上は安定。地元小中学校からの恒常的な注文もある。(スポーツ用品全般)
- 県から販売価格の見直し(値上げ)を要請されており、来年から商品の値上げを検討している。(コーヒー)
- 商品価格の上昇に伴い買替ではなく、修理の依頼が増えている。(家電販売)

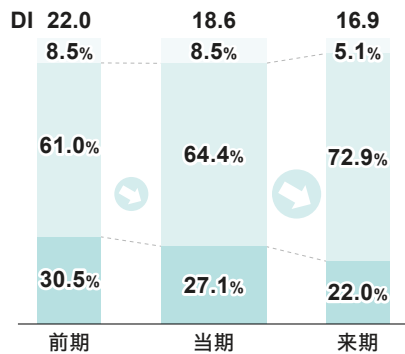


当期(10~12月)のサービス業の業況は、前期(7~9月)と比べて悪化しました。来期(1~3月)は良化すると予想します。

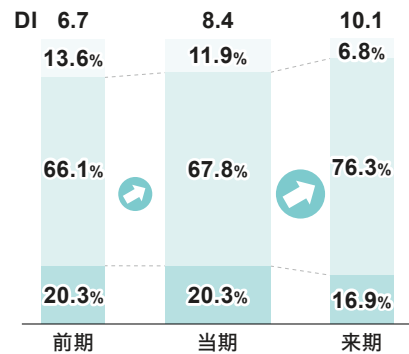
## ● 業況DI推移



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	売上の停滞・減少	21.0%
第2位	同業者間の競争の激化	15.1%
第2位	材料価格の上昇	15.1%

## ● 当面の重点経営施策トップ3

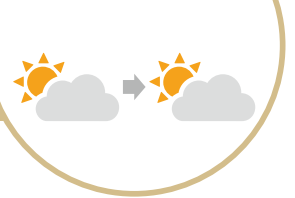
第1位	経費を節減する	25.9%
第2位	販路を広げる	19.4%
第3位	宣伝・広告を強化する	13.0%

## お客様の声



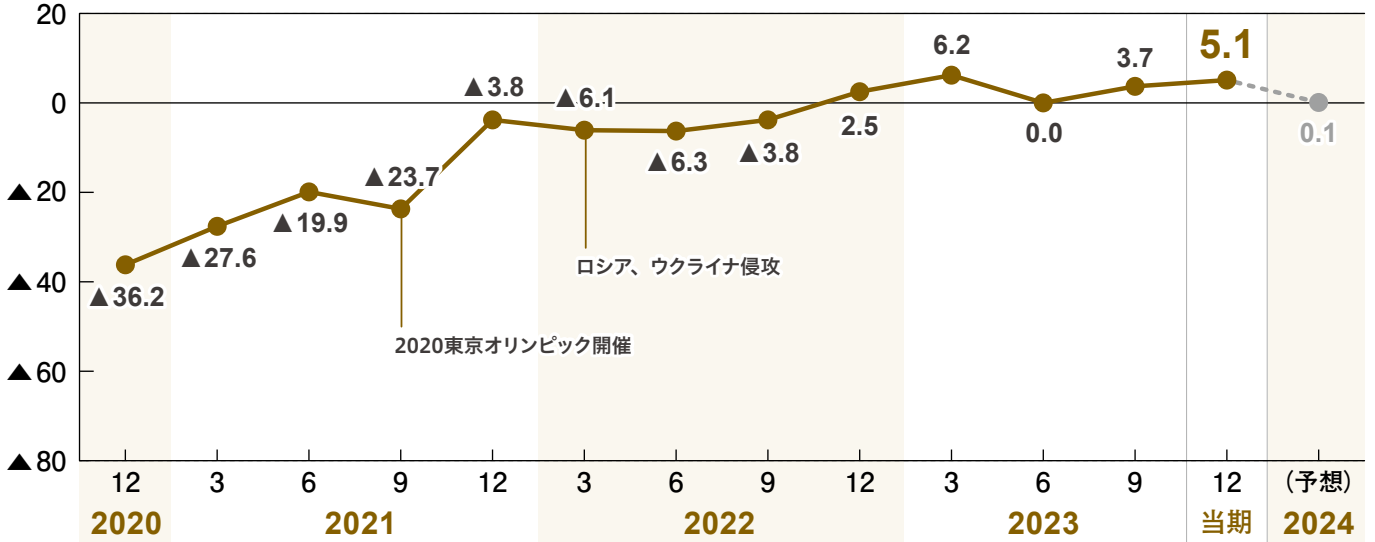
- 新規工場が完成予定。作業を受ける容量が広がり売上増加が見込まれる。(自動車整備)
- 現状、人員確保されているが、将来的には技能実習生(外国人)の雇用も考えている。(介護)
- ハイブリッド車・EV車の増加に伴い整備技術の向上が求められている。(自動車板金・整備)
- 顧客離れが改善されておらず売上減少傾向。販売価格の見直しや広告宣伝に注力。(美容業)
- 来年6月から処分場処理費の値上げが予定されており、価格転嫁考えている。(産業廃棄物収集運搬)



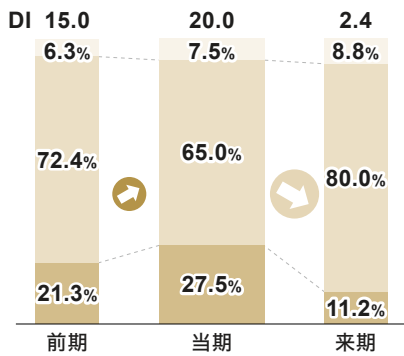


当期(10~12月)の建設業の業況は、前期(7~9月)と比べて良化しました。来期(1~3月)は悪化すると予想します。

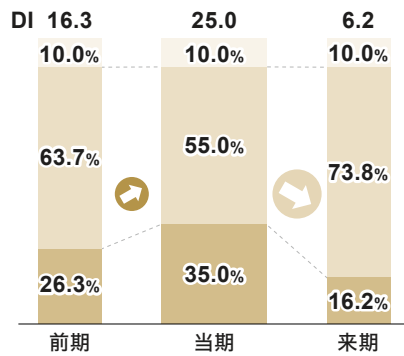
## ● 業況DI推移



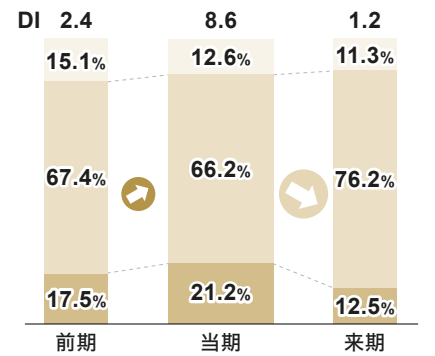
## ● 受注残



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	材料価格の上昇	25.0%
第2位	人手不足	22.0%
第3位	売上の停滞・減少	10.7%

## ● 当面の重点経営施策トップ3

第1位	経費を節減する	27.3%
第2位	人材を確保する	24.8%
第3位	販路を広げる	19.9%

## お客様の声

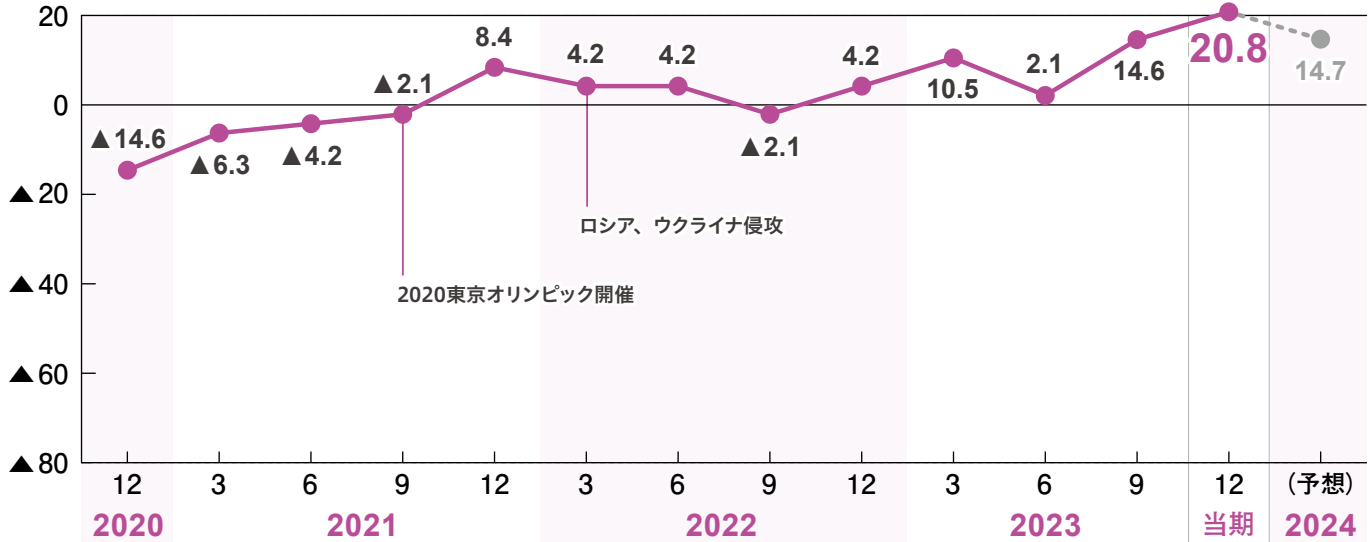


- 材料費が上昇しているが、価格転嫁は行われており、収益は改善している。(タイル工事)
- 業界全体でも人手不足は課題であり、人が入ってもすぐに退職してしまう。(鉄筋基礎工事)
- 仕入単価は高騰しているが、それを販売価格へ反映出来るよう取り組んでいる。(道路舗装工事)
- 日本人の従業員確保が厳しい状況にあり、来年ベトナム人の特定技能実習生が2名来る予定。(防水工事)
- インボイス制度と電帳法の取扱いが経理部の業務を増加させている。(内装工事)

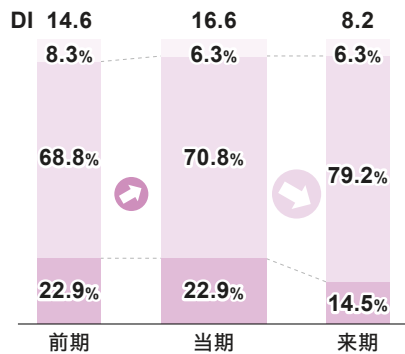


当期(10~12月)の不動産業の業況は、前期(7~9月)と比べて良化しました。来期(1~3月)は悪化すると予想します。

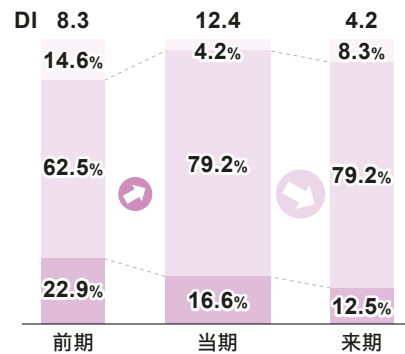
## ● 業況DI推移



## ● 売上額



## ● 収益



■ 増加 ■ 変わらず ■ 減少

## ● 経営上の問題点トップ3

第1位	商品物件の高騰	20.6%
第2位	同業者間の競争の激化	19.6%
第2位	商品物件の不足	19.6%

## ● 当面の重点経営施策トップ3

第1位	情報力を強化する	26.7%
第2位	販路を広げる	22.8%
第3位	経費を節減する	19.8%

## お客様の声



- 仕入価格の上昇が止まらず販売価格への転嫁が厳しい状況にあり、業況が上向かない。(建売・土地売買)
- 住宅購入需要の高まりから業況は堅調に推移。物件価格の高騰・不足が課題。(不動産仲介)
- 資材高騰が続いており、退去後のリノベーション費用がネックとなっている。(不動産賃貸)
- 駅前へ移転、フランチャイズ加盟により認知度は高まってきている。(不動産業)
- 戸建て販売は順調であるが、商品物件仕入れが苦戦。営業エリアを絞り営業強化。(建売・土地売買)

- **問1.** 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	回答数	構成比		回答数	構成比
1.非常に良い	0	0.0%	5.やや悪い	118	29.5%
2.良い	6	1.5%	6.悪い	36	9.0%
3.やや良い	69	17.2%	7.非常に悪い	10	2.5%
4.普通	161	40.3%	計	400	100.0%

- **問2.** 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	回答数	構成比		回答数	構成比
1.非常に良い	0	0.0%	5.やや悪い	79	19.8%
2.良い	5	1.2%	6.悪い	15	3.7%
3.やや良い	84	21.0%	7.非常に悪い	1	0.3%
4.普通	216	54.0%	計	400	100.0%

- **問3.** 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	回答数	構成比		回答数	構成比
1.30%以上の増加	0	0.0%	6.10%未満の減少	51	12.8%
2.20~29%の増加	3	0.7%	7.10~19%の減少	6	1.5%
3.10~19%の増加	43	10.8%	8.20~29%の減少	3	0.7%
4.10%未満の増加	91	22.8%	9.30%以上の減少	3	0.7%
5.変わらない	200	50.0%	計	400	100.0%

- **問4.** 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	回答数	構成比		回答数	構成比
1.すでに上向いている	67	16.8%	5.3年後	48	12.0%
2.6か月以内	32	8.0%	6.3年超	38	9.5%
3.1年後	82	20.5%	7.業況改善の見通しは立たない	57	14.2%
4.2年後	76	19.0%	計	400	100.0%

- **問5.** 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については1~5から、仕入価格については6~0から、それぞれもっとも当てはまるものを1つずつ選んでお答えください。

販売価格	回答数	構成比	仕入価格	回答数	構成比
1.大幅な上昇(10%以上)	15	3.8%	6.大幅な上昇(10%以上)	39	9.8%
2.緩やかな上昇(10%未満)	192	48.0%	7.緩やかな上昇(10%未満)	237	59.2%
3.変わらない(一進一退など)	172	43.0%	8.変わらない(一進一退)	103	25.7%
4.下落	3	0.7%	9.下落	1	0.3%
5.わからない(自社には関係ないなど)	18	4.5%	0.わからない(自社には関係ないなど)	20	5.0%
計	400	100.0%	計	400	100.0%

# TOPICS

## ● 日本工業大学第18回ビジネスプランコンテストへの協賛

令和5年10月30日(月)日本工業大学学友会館ホールにて日本工業大学第18回ビジネスプランコンテスト最終審査会が開催されました。当金庫はこのコンテストに毎年協賛しており、審査員と川口信用金庫賞のプレゼンターを務めております。208件の応募の中から選ばれた8件のファイナリストのプレゼンテーションが行われ、各賞の受賞者が決定しました。



ファイナリストと審査員



プレゼンターを務める飯田専務

## ● 日本工業大学で寄附講座「創業の基礎」を実施

当金庫は産学連携の一環として日本工業大学へ寄附講座「創業の基礎」を毎年提供しています。日本工業大学は起業教育に力を入れており、本講座は起業を目指す学生への基礎教育の一環として活用されています。12年目となる本年度の講座は、当金庫職員のほか、日本政策金融公庫、土業、起業家、ビジコン入賞者など多彩なキャリアを持つ講師陣が、全14回の講義を行いました。



第3回登壇  
株式会社のがむし 周東孝一様

川口信用金庫 寄附講座

### 創業の基礎

開講のお知らせ

- 「創業の基礎」は起業を目指す方々が基礎知識を学ぶための講座です
- 第一線で活躍する現役起業家の体験談など多様な構成となっています
- 企業での社内プロジェクト立案、運営、管理などにも役立つ内容です

※特別講座「創業の基礎」は、日本工業大学と川口信用金庫との産学連携事業の一環として実施される特別講座です。創業の基礎知識のほか、創業に必要な資金調達の方法など金融機関ならではの講座に加え、第一線で活躍する起業家自身の創業ストーリーを語るなど、豊富な内容になっています。

開講	2023年 9月26日(火)～
時間	毎週火曜日3限 13:20～15:00 (全14回講義)
会場	日本工業大学 宮代キャンパス

| 主催 | 日本工業大学イノベーション創成教育センター | 講義提供 | 川口信用金庫  
| 内容 | についての説明会 | 川口信用金庫 営業推進部 | 地域企業連携課 ☎049-259-4111



第4回登壇  
日本政策金融公庫 高田美奈様



第8回登壇  
公認会計士/税理士 矢野裕紀様



第10回登壇  
株式会社データバンク 中小企業診断士  
鈴木圭太様



第11回登壇  
当金庫職員  
佐藤拓磨(中小企業診断士)



# TOPICS

## ● 小学生向けマネースクール

令和5年9月から11月にかけて合計4回、小学生向けマネースクールを青木信用金庫と共同で実施しました。創立100周年を迎えるにあたり社会貢献事業の一環として、若手職員が川口市内の小学校に赴き、高学年(5・6年生)を対象に金融の授業を行い、多くの生徒が元気いっぱい参加しました。



朝日東小学校①



新郷南小学校



朝日東小学校②



安行東小学校

## ● かわしん経営塾 next neo オープン講義

令和6年1月29日(月)川口信用金庫本店9階研修室において、かわしん経営塾 next neo オープン講義が開催され、多くのお客様にご参加いただきました。

タイトルを「今からでも遅くないSDGs活用入門」とし、中小企業とSDGsを取り入れた経営についての講演や、実際の取組についての事例発表がありました。

後援の埼玉県担当者からは「埼玉県環境SDGs宣言企業制度」の紹介もあり、参加者は一様に熱心に耳を傾けていました。



ニッケン建設(株)  
蓮見利之様



中小企業診断士  
村岡滋様



# TOPICS

## ● 川口市市産品フェア2023

令和5年10月27日(金)から29日(日)の3日間にわたり、川口市内企業の販路拡大と地域経済の活性化を図り、地方創生の推進に資することを目的として、川口市で生産される市産品の展示会を中心とする「川口市市産品フェア2023」が開催されました。今年度から会場を「SKIPシティ」から「川口オートレース場」に移しての開催となりましたが、当金庫の取引先も多数参加し、大盛況のうちに終了しました。



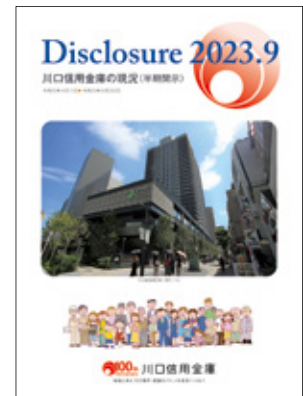
会場の川口オートレース場



開会式の様子

## ● 川口信用金庫概況説明会・懇親会

令和5年11月28日(火)ホテルブリランテ武蔵野にて「川口信用金庫概況説明会・懇親会」が開催され、各営業店から総勢84名の総代の皆様にご参加いただきました。概況説明会では令和5年度仮決算の概要や経営内容の説明があり、その後会場を移して行われた懇親会では、総預金1兆円達成のくす玉が割られました。余興もあり、会場は大いに盛り上がりました。



概況説明会での木村理事長



総預金1兆円達成のくす玉を割って



### かわしん経営塾 next neo 受講募集のご案内

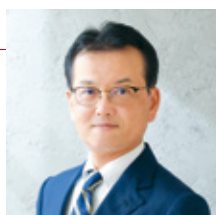
経営者・将来の後継候補者・創業間もない経営者を対象に自身の経営に活用できる気づきの機会を提供します。オリジナルプログラムを使用し、少人数・グループワーク中心の講義で理論よりも実践的なスキルの取得を目指す経営塾です。

開催日	2024年5月15日(水)～2024年7月24日(水) 隔週水曜日全6回		
開催時間	13:30～17:00	開催場所	川口信用金庫本店9階研修室
定員	30名	参加費	33,000円(税込み)／全6回分

回	日程	テーマ	講義内容
第1回	2024年5月15日(水)	10年後の姿	会社の目的・自社の将来像
第2回	2024年5月29日(水)	人材と組織	リーダーシップとマネジメント
第3回	2024年6月12日(水)	資金計画・資金繰り	数値の見方・分析の基本
第4回	2024年6月26日(水)	販売・マーケティング	販売・マーケティングの必要性
第5回	2024年7月10日(水)	IT活用とセキュリティ対策	情報セキュリティ・発信手法
第6回	2024年7月24日(水)	成果発表会	社長の仕事とは

#### ● 講師陣紹介

一般社団法人埼玉県中小企業診断協会に所属する中小企業診断士が企業支援の現場で培ったノウハウをお伝えします。



ご好評につき、第2期の募集が開始されました。専用のリーフレットをご用意していますので、受講をご希望の方はお取引支店担当者、または下記までご連絡をお願いします。申込数が定員に達した場合は受付を終了させていただく場合がありますので、早めのお申し込みをお願いいたします。

#### ● お問い合わせ

川口信用金庫 営業推進部 地域産業支援課  
E-mail : nextneo@muse.ocn.ne.jp  
TEL : 048-259-4111





## 川口信用金庫

発行. 川口信用金庫

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号 地域産業支援課

TEL:048-259-4111

HPアドレス:<https://www.shinkin.co.jp/ksb/>

